

# 論文審査の結果の要旨

氏名 Dabaghmanesh Nazanin

本研究は、ヘルペスウイルスの一種であるHHV-8感染が原因で発症し難治性の特異なリンパ腫primary effusion lymphoma (PEL)に対する新たな分子標的治療法開発の基礎研究である。PEL細胞ではNF- $\kappa$ Bが恒常的に活性化していることが知られている。そこで、新規NF- $\kappa$ B阻害剤を用いて、NF- $\kappa$ B阻害の効果を検討した。その結果、DHMEQは一過性にNF- $\kappa$ Bを阻害することにより、不可逆的なアポトーシスによる細胞死の引き金を引くことを見いだした。発現アレイ解析の結果から、これは、近年注目されている”Oncogene addiction”と”Oncogenic shock”という概念に合致する現象であることが強く示唆された。本研究の結果は、新規NF- $\kappa$ B阻害剤DHMEQがPELの分子標的薬の有力な候補であることを示したもので、PELの新たな治療戦略開発に有力な情報を提供するものであり、学位の授与に値するものと考えられる。